

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ドリームズ2 1st 津藤方校			
○保護者評価実施期間	2026年 7月 7日		～	2026年 7月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31人	(回答者数)	15人
○従業者評価実施期間	2026年 6月 15日		～	2026年 6月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数)	11人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 7月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教室を3つに分け、レッスン(目的)によって場所を変えることで、切り替えやすい。	教室間の移動時には、次の取組みを明確に伝えて、切り替えを促す。 教室移動後は、静粛を保ち、あいさつをキチンとして始めることで、気持ちの切り替えもスムーズに行えるようにしている。	教室に特色を出し、切り替えやすかったり、取組みがわかるような掲示を行っている。そのなかで情報過多で、集中が削がれないように注意していく。
2	パソコンレッスンの時間のなかで、カリキュラム通り一貫して行うのではなく、本人の特性に合わせて柔軟にレッスンを組み立てている。	本人の意見(やりたいこと)を尊重しながら、レッスンを組み立てている。そのことで、自身の成長を感じられ、さらなるモチベーションの向上を促している。	生徒の強みや好きなことを活かして、興味関心のあることレッスンができるように、職員間で生徒情報の共有し、『好きなこと』を活かすレッスンを提案していく。
3	中学生においては、学習指導にとどまらず、中学生としての学習との向き合い方や、計画性をもって取り組むことをクラスの仲間で共有して取り組んでいる。	始まりの会や終わりの会にて、学習との向き合い方の話し合いをし、学習の目的(高校進学などの自己実現)を常に確認している。	学年が違う生徒同士の交流を多くして、この先の不安や悩みを、先輩から後輩に伝える機会を多く持てるように声掛けをしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間の共有と、意見交換の時間を多く持つことが必要。	生徒に対して、問題が起こったときに話し合うだけでなく、良いところ・素晴らしいことを共有しあい、その生徒の個性(資源)を活用して、支援にあてるサイクルを全職員がもてることが課題。	常勤のスタッフだけでなく、全員が集まる機会を定期的に開催して、それぞれのスタッフの考えを吸い上げ、スタッフ間の結束と、一貫性を高めていく。
2	ご利用者さまへの利用状況や日頃の様子など、こまめにお伝えしていく。知りたい・聞きたいとのご要望を言っただけ前にも、十分なコミュニケーションを持つことが必要。	メールや文章などの間接的な報告が多くなっている。直接対面して話をする中で、ご利用者さまのご希望を話して頂ける時間を増やしていくことが課題。	日頃に直接支援しているスタッフより、ご利用者さまと生徒との三者で、話をする時間を持つ。その状況で、生徒の良いところなどを伝え、本人も褒めて貰え成長できる機会を増やしていく。
3			